

平成 2 1 年度 第 2 回 函館市南茅部地域審議会会議録

開催日時	平成 2 1 年 1 0 月 2 6 日 月曜日 午後 2 時 0 0 分 ~ 午後 5 時 5 0 分				
開催場所	函館市南茅部支所 3 階 多目的ホール				
内 容	<p>報告事項</p> <p>議 題</p> <p>( 1 ) 平成 2 2 年度地域別事業計画 ( 案 ) について</p> <p>地域振興全般に関する意見交換</p> <p>( 1 ) 東部営業所管内 ( 旧町村地区 ) 家庭用以外の水道料金の統一について</p> <p>( 2 ) 学校給食について</p> <p style="padding-left: 2em;">椴法華中学校学校給食共同調理場について</p> <p style="padding-left: 2em;">東部 4 地域の学校給食費および給食回数の統一について</p> <p>( 3 ) 尾札部保育園等児童通園費補助要綱の見直しについて</p> <p>( 4 ) 函館国際水産・海洋都市構想について</p> <p>( 5 ) 次回の意見交換テーマについて</p> <p>( 6 ) その他</p>				
出席委員	秋本委員 遠山委員 蛭谷委員	熊谷委員 佐々木委員 高谷委員	濱田委員 鎌田(茂)委員	加藤委員 坂本委員	竹原委員 工藤委員 (計 1 2 名)
	・報道関係	北海道新聞社	函館新聞社		(計 2 社)
	・傍聴者				(計 3 名)
欠席委員	竹内委員	鎌田(光)委員	木原委員		(計 3 名)
事務局の出席者の職氏名	南茅部支所長 南茅部支所地域振興課長 同市民福祉課長 同産業建設課長 同地域振興課主査 同地域振興課主任主事 南茅部教育事務所長 市立函館南茅部病院事務長 水道局管理部次長 同管理部料金課長 同東部営業所長 同管理部料金課調定係長	梅田誠治 長谷川大春 小枝精一 河合満夫 西谷光一 加我明夫 田名部洋 加我賢也 中谷宏平 吉岡 司 岩船秋男 早瀬 洋	理 事 企画部計画推進室長 同 地 域 振 興 課 長 同地域振興課主査 同地域振興課主事 1 級 同国際水産・海洋都市推進室長 同国際水産・海洋都市推進室次長 教育委員会生涯学習部次長 同生涯学習部参事 同学校教育部保健給食課長 同学校教育部保健給食課主査 同学校教育部保健給食課主査	小柏忠久 佐藤洋一 佐藤直孝 進藤昭彦 小玉 亮 藤田秀樹 本吉 勲 小林良一 阿部千春 中村文信 水上裕行 出村美知子	(計 2 4 名)

1 開会（午後2時00分）	
事務局 (長谷川課長)	ただ今より、平成21年度第2回函館市南茅部地域審議会を開会します。
2 会長あいさつ	
秋本会長	<p>&lt;挨拶要点&gt;</p> <p>皆様には、時節柄、お忙しいところ、また南茅部地域でも新型インフルエンザが流行しているなかをご出席いただき、誠にご苦労様でございます。</p> <p>本日の審議会は、平成22年度地域別事業計画案の説明を受け、ご意見をいただく予定でございます。</p> <p>また、地域振興に関する意見交換では、「東部営業所管内の家庭用以外の水道料金の統一について」を水道局より、「学校給食について」を教育委員会より、「尾札部保育園等児童通園費補助要綱の見直しについて」を支所より、それぞれ報告してもらい、皆様のご意見をいただくことも予定しております。</p> <p>その後、今回の意見交換テーマの「函館国際水産・海洋都市構想について」を企画部より説明していただき、勉強する予定でありますので、委員各位の忌憚のないご意見・ご提言を期待して、開会のご挨拶といたします。</p>
3 支所長あいさつ	
梅田支所長	<p>&lt;挨拶要点&gt;</p> <p>本日は、何かとお忙しい中、ご出席いただき、心より感謝申し上げます。</p> <p>先程、会長からもお話ありましたとおり、来年度の地域別事業計画案をはじめ案件の多い審議会となっておりますので、私からも後程、議会報告をさせていただきますので、委員の皆様から有意義なご意見、ご質問をいただけることをご期待申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。</p>
4 出席委員の報告	
事務局 (長谷川課長)	出席者12人、欠席者3人、地域審議会の設置に関する規程第8条の規定により、会議の成立をご報告いたします。
5 報告事項	
秋本会長	日程5の報告事項について、梅田支所長から報告ののち、質疑を受けたいと思います。
梅田支所長	<p>それでは、私の方から議会報告をさせていただきます。</p> <p>平成21年第3回市議会定例会が、去る9月7日から9月30日まで開催され、その中で当地域に関わる事項として、まず4支所地域の地区長制度について、現時点でどのような状況になっているのかといった質問に対して、「検討・調査を進めていきたい」と答弁がなされました。</p>

	<p>それから、小中学校における情報通信教育の取り組みについての質問が出され、当地区も東商工会青年部の方々が中心となって光回線の誘致活動に取り組んでおり、過去2回で約250件の加入希望、さらに今回、720件の署名をいただいたところでありますが、教育委員会としては、「今後、検討して参りたい」ということで、現在、携帯電話回線を利用したブロードバンド整備に向けた調査・検討をしているとのことです。</p> <p>当地区においては、川汲地区から大船地区までADSL回線を利用できますが、現在、大船小学校のみで、臼尻小学校、臼尻中学校についても、なるべく早い時期にADSL回線へ移行したいとのことであります。</p> <p>また、消防体制についての質問に対しては、現在、戸井地区と旧市内の消防署が統合整備されるということで、戸井地区のバイパス沿いに新しい消防署が建設されております。</p> <p>南茅部病院の療養病床が休止となって半年が経過した中で、今後どのような運営になっていくのか、また病院施設の改修についての質問も出され、病院局から「検討して参りたい」と答弁がありました。</p> <p>それから漁業関係で、漁船とゴムボートの事故防止といった質問があり、農林水産部から「安全対策について関係機関と連携を図っていきたい」と答弁がなされました。</p> <p>以上です。</p>
秋本会長	<p>報告が終わりましたので、質疑に入ります。 質疑ありませんか？</p>
佐々木委員	<p>消防体制について、火災通報は本部で受けて、そこから各部署に指令が送られるとのことだが、過去に消防車が現場を通り越し待機していた事例もある。 合併前は、屋号で伝えれば場所もすぐに分かってもらえたが、現在、支署に地元の職員は配置されていないのか？</p>
梅田支所長	<p>常時ではありませんが、支署に地元出身の職員は配置されております。 4支所地区においては、やはり地元精通した職員も必要なので、そうした事を配慮しての人員配置となっております。 屋号でというお話もございましたが、通報の際には消防本部の通信司令室につながり、地番表示された地図で場所を確認しておりますので、地番による通報について、ご協力をお願いしているところであります。</p>
秋本会長	<p>他にありませんか？</p>
加藤委員	<p>地区長制度の検討にあたって、市長はいつまでにと答弁しているのか？</p>
梅田支所長	<p>庁内的には、合併から5年が経過し、地域の方々のご意見をお聞きする中で、地区長制度の導入について、年度内に検討したいという考え方になってはございますが、市長の答弁では明言しておりません。</p>
加藤委員	<p>会議録を見ると、平成20年度第1回地域審議会では、「9月末までに叩き台を作成したい」と答弁している。</p>

梅田支所長	<p>今年7月の第1回地域審議会では、遠山委員の質問に対して、「その時点ではそういう考え方だったが、現段階ではそこまで進んでいない。議会でも今年度中にと答弁している」と答えている。</p> <p>地区長制度は、市長の公約でもある重要な事項なので、先延ばしせず、今年度中にまとめるよう市長へ伝えてほしい。</p> <p>4支所長のうち私を含め、3人が定年退職を迎える中で、在任中に整理できるよう鋭意努力していきたいし、委員からのご意見についても市長へ申し伝えたい。</p>
小柏理事	<p>地区長制度については、4支所間で住民の方の受け止め方に差があると認識しており、検討が進まない要因となっております。</p> <p>制度内容をよく理解していただけていないため、導入について否定的な意見もあり、もっと地域の声を聞かなければ、制度を導入したとしてもうまく機能しない恐れがあることから、足踏みしている状況です。</p> <p>市長の思いとしては、合併した4支所地区の地域振興が将来にわたって図られるよう、4支所地区を統括した地区長を置いた方が、行政に対する声も通りやすいだろうということで、公約に掲げた訳ですが、各地域審議会でのご意見をお聞きした中では、「各支所は函館市と合併したのであって、4支所と合併した訳ではない」という思いを強く感じております。</p> <p>そこにギャップがあるため、制度の導入にあたり危惧しております。</p> <p>そうしたことを踏まえ、来月上旬から企画部長が地域に入って、各種団体との意見交換をする予定でありますので、そうしたご意見を踏まえながら、検討していきたいと考えております。</p>
遠山委員	<p>これまで地区長制度についての説明を受けたことはないが、4支所間で受け止め方に差があるというのは、どの段階で把握したのか？</p> <p>それから、4支所地区を統括するということが、市長は2地区に分けて、新年度から導入したいと議会でも答弁していると思うが、その辺について、もう少しくわしく説明してほしい。</p>
小柏理事	<p>公約に掲げた2地区というのは、端的に申し上げますと、南茅部地区とあとの3地区という考え方ですが、地区長を置いた地区が優遇されるのではないかといった危惧があるようで、そうした事に対する思いの差があることから、今後、こうした課題を整理していく必要があると考えております。</p>
遠山委員	<p>それはあくまで部内で協議した結果、そういう意見があるだろうということだと思いが、我々にしてみれば協議した事もなければ、説明を受けた事もない。</p> <p>きちんと協議できる資料を提示して、こういうメリット、デメリットがあると説明したうえで、地域の声を聞かなければ、地域の受け止め方に差があるとの判断に至らないのではないかと？</p>
小柏理事	<p>今後、各地域をまわり、各種団体の方々からご意見をお聞きし、地域の声を反映したうえで、支所としての考え方を整理し、そのうえでの判断になる</p>

	と考えております。
秋本会長	他にありませんか？
坂本委員	先程の消防への通報に関連して、地番により現場を確認しているとのことだが、当地区は地番が複雑に入り組んでおり、場所を特定しにくいので、地番の整理をお願いしたい。
秋本会長	他にありませんか？  (特になし)
秋本会長	他にないようですので、質疑を終了します。
<p>6 議 題 (1) 平成22年度地域別事業計画(案)について</p>	
秋本会長	日程6の議題に入ります。 (1) 平成22年度地域別事業計画(案)について、事務局から説明願います。
事務局 (長谷川課長)	(資料1のとおり説明)
秋本会長	説明が終わりましたので、質疑に入ります。 質疑ありませんか？
遠山委員	<p>消防への通報について、地域の方はどこへつながるのか認識していないと思うので、その辺をきちんと周知する必要があると思う。</p> <p>また、場所を教える際に、旧市内のように電柱等に地番を表示しないと、正確な場所の伝達ができないと思う。</p> <p>それから商業振興について、今年、函館開港150周年記念のプレミアム商品券が発行され、東商工会でも2万3千枚が完売し、現時点で回収しているのが12,718枚、55パーセントの回収率となっている。</p> <p>したがって45パーセントは、旧市内で利用されたと想定され、商品券の利用に限らず、同じ割合で旧市内に消費が流出していると思われる。</p> <p>このように地元商業者にとって厳しい状況にある中で、昨年、東商工会が50万円の原資で500万円の地域限定商品券を発行した結果、98パーセントの回収率となり、地域の活性化につながったものと認識している。</p> <p>木古内町では、町が600万円を補助し、3,000万円分の商品券を発行しており、森町は1,000万円を補助して、6,000万円分の商品券を発行、新ひだか町でも、3,600万円を補助して、1億8,000万円分を発行している。</p> <p>当初の合併建設計画には、4支所の商工業振興としての事業は組まれていないが、例えば各支所それぞれ20万円ずつの補助があれば、東商工会として800万円の商品券が発行でき、4支所地区の商工業振興につながると思</p>

	<p>うが、市としてそのような考えはないかお伺いしたい。</p>
梅田支所長	<p>4支所における商工業振興の企画・立案は本庁の所管ではありませんが、商工会議所をはじめ、各地域の商工会がそれぞれ地元商工業の振興を図るために取り組んでいる中で、市としても補助金等の支援をしているものでございます。</p> <p>商品券の発行も、その取り組みのひとつでありますので、関係部局と協議しながら、検討して参りたいと考えております。</p> <p>また、中小企業者に対する金融支援として、貸付制度も合併建設計画の事業として実施しているものでございます。</p>
遠山委員	<p>商工会も、年々会員数が減少している中で、市からの補助金も削減され、厳しい状況にあるので、こうした取り組みに対する支援を是非ともお願いしたい。</p>
秋本会長	<p>他にありませんか？</p>
加藤委員	<p>資料について、現段階で来年度に予定している事業を掲載しているとのことだが、漁業用機械等購入資金の融資、漁業後継者育成対策事業、合併処理浄化槽設置促進、高齢者の緊急通報システム等、ほぼ確定している事業についても掲載すべきではないか？</p> <p>極力、成案に近い形で資料を作成してほしい。</p>
事務局 (長谷川課長)	<p>加藤委員からご指摘のありました事業は、すべて全地域にわたる事業で、来年度に予定しているものですが、計画額につきましては、各地域毎ではなく、全体での積算となります。</p> <p>実績報告では、各地域毎の実績額が分かりますので、その時は南茅部地域分としてお示ししたいと考えております。</p> <p>今回、ご説明させていただいておりますのは、あくまで南茅部地域に限った事業についてということですので、ご理解いただきたいと思います。</p>
加藤委員	<p>計画を予定している事業については、全て予算要求されるようお願いしたい。</p> <p>それから、今年、市の単独事業として、町内会が中心となって海岸清掃を実施したが、本来であれば漁協が主体となって取り組むべきだと思うので、今後、漁協も参画した中で事業を展開できないものか？</p>
産業建設課 (河合課長)	<p>本事業は緊急雇用創出推進事業の一環として、今年、初めて実施しましたが、今後、継続できるかどうか検討したいと思います。</p>
加藤委員	<p>こういう事業を実施したという事を、漁協の役員は認識しているのか？</p>
産業建設課 (河合課長)	<p>漁協には伝えておりません。</p>
秋本会長	<p>資料の件については、従来のもままでよろしいか？</p>

加藤委員	<p>提案する時期が、12月でもいいのではないかと？ この時期だと不確定要素のものが多すぎる感じがする。</p>
梅田支所長	<p>この時期にお示ししている理由としては、例えば来年度、コミュニティセンターの耐震耐力度調査を予定していますが、この改修について皆さんから現状のままでいいのではないかと、あるいは建て替えたかどうかといったご意見をお聞きした中で、具体的な予算要求作業に入っていきたいという考え方でございます。</p> <p>ある程度、計画が決まってからであれば、皆さんからのご意見を反映できなくなってしまうことから、この時期が適切だと判断させていただいておりますので、ご理解願いたいと思います。</p>
企画部 (佐藤室長)	<p>当初、地域審議会の開催時期について検討した際、来年度の事業計画案に皆さんのご意見やご要望を反映させるためには、やはり予算要求に入る前のこの時期が適切だろうということで決定したものであります。</p> <p>ただ、具体的内容については、もう少し皆さんにもイメージが分かるように説明する必要があるかと思っておりますので、今後、支所とも相談させていただきたいと思っております。</p>
秋本会長	<p>只今の件については、正副会長との事前打ち合わせの際にも、支所と協議しているが、事務局から説明のあったとおり、このような資料配付とさせていただいたということでご理解願います。</p> <p>他にありませんか？</p>
蛭谷委員	<p>小中学校のコンピュータ整備にあたっては、事前に学校側の意向を確認しているのか？</p>
教育委員会 (小林次長)	<p>教育委員会で一定の仕様を定めて、各学校にもご確認いただいたうえで、取り進めてございますが、プリンタの問題等もありますので、適宜、担当課と学校と十分協議していきたくと考えております。</p>
蛭谷委員	<p>コンピュータの整備にあたっては、そういった微調整が伴うので、一律の仕様ではなく、現場に合わせた柔軟な対応をお願いしたい。</p> <p>また、通信回線について、ADSL回線が利用できる地域でありながら、3校のうち1校しか導入していない状況である。</p> <p>インターネット接続やメールの送受信に時間がかかるなど、授業はもとより日常業務に支障をきたしているため、ADSLや携帯電話回線への移行を図るなど、早期に通信回線の整備を図ってほしい。</p>
教育委員会 (小林次長)	<p>ADSL回線への移行については、速やかに対応させていただき、ISDN回線しか利用できない地域の学校につきましても、携帯電話回線を利用した調査・検討を行っているところであり、各学校とも協議しながら、なるべく早い時期に改善したいと考えております。</p>
秋本会長	<p>他にありませんか？</p>

	(特になし)
秋本会長	他に無いようですので、質疑を終了します。
7 地域振興に関する意見交換	
秋本会長	日程7の地域振興全般に関する意見交換を行います。 本日は、水道局、教育委員会、支所よりそれぞれ説明を受け、皆さんからご意見を伺いたいと思います。
(1) 東部営業所管内の家庭用以外の水道料金の統一について	
秋本会長	(1) 東部営業所管内の家庭用以外の水道料金の統一について、水道局から説明があります。
水道局 (吉岡課長)	(資料2のとおり説明)
秋本会長	説明が終わりましたので、意見交換に入ります。 何かご意見ありませんか？
加藤委員	料金が上がる事業者に対する事前説明など、地域審議会での要望を取り入れていただいたので、その点については評価したい。
秋本会長	私も上下水道事業等経営審議会の委員となっているが、水道料金の統一は合併協議の決定事項であり、これまで5年間の特例措置をしてきた中で、事業者から大きな反対もなかったということなので、特に問題はないものと認識している。 他にご意見ありませんか？
	(特になし)
秋本会長	他に無いようですので、意見交換を終了します。
(2) 学校給食について	
秋本会長	(2) 学校給食について、教育委員会から説明があります。
教育委員会 (中村課長)	(資料3のとおり説明)
秋本会長	説明が終わりましたので、意見交換に入ります。 何かご意見ありませんか？
佐々木委員	学校給食費は、来年度から上がるということか？



教育委員会 (中村課長)	資料にありますとおり、給食費と給食回数を統一させていただくことですので、南茅部地区におきましては、来年度から給食費が上がるということになります。
佐々木委員	食材の調達について、共同購入となった場合、地場産品等の活用はどのようになるのか？
教育委員会 (中村課長)	食材の調達にあたっては、これまでも4支所地区だけでなく旧市内の学校において、昆布等の地場産品を5割程度使用しており、今後も同様に活用していきたいと考えております。
蛭谷委員	給食回数について、旧市内の基準はどのようになっているのか？
教育委員会 (中村課長)	給食回数については、学校の教育課程で決められております。
蛭谷委員	現在、地元の学校では特色ある授業を実施しているが、給食回数が減ることにより、そうした授業にも影響が生じる恐れがあるが、その辺について学校側とどのような話し合いがなされているのか？
教育委員会 (小林次長)	授業時間数については、特に中学校が旧市内と比べ、4支所地区の方が若干多くなっている傾向にありますが、こうした授業時間数の設定は、学校長の裁量により決定されております。 教育委員会といたしましては、給食回数の統一にあたり、各学校長と協議をし、こうした授業時間数について精査をさせていただいているところであります。
蛭谷委員	学校と協議した結果、給食回数を統一しないこともあり得るのか？
教育委員会 (小林次長)	色々なご意見をいただいた中で、学校給食共同調理場運営委員会にご説明し、12月に改めてご議論をいただきながら、取りまとめさせていただきたいと考えております。
蛭谷委員	給食費の統一については、やむを得ないと思うが、給食回数は先程説明したとおり地域事情もあるので、一度に統一すべきものではないと思う。 段階的に調整するなど、各学校の実情を考慮して行ってほしい。 それから、ラーメン等の生徒達に人気のある献立については、今後も継続されるのか？
教育委員会 (小林次長)	給食回数については、学校給食共同調理場運営委員会をはじめ、各学校やPTA、地域審議会でのご意見を反映していきたいと考えております。 献立については、例えばラーメンは副食として、今後も継続されることとなっており、これまでの献立が全く無くなる訳ではございませんので、ご理解いただきたいと思います。

蛭谷委員	旧市内の献立についてのアンケート資料等はあるのか？
教育委員会 (中村課長)	各学校毎にアンケートを実施し、その結果を基に給食に反映していると思いますが、確認後、資料等があれば委員さんへお渡ししたいと思います。
遠山委員	給食回数を統一する考え方について、調達方法を統一する前提として、給食費や給食回数を統一する必要があるとの説明だが、本来、学校の実情に合わせた給食回数とするのが原則ではないのか？ それから、食材の調達が共同購入となれば、地元業者への影響も懸念されるがいかがか？ あと、4支所地区の給食費納入率はどのようになっているのか？
教育委員会 (小林次長)	教育委員会としては、市内の全ての児童生徒が公平な機会・内容で給食を受けることが教育上望ましいとの考え方から、給食費・給食回数の統一を図ろうとしているものでございます。 食材の調達にあたっては、函館市学校給食会での共同購入となりますが、これまで食材を納入いただいている業者さんもございますので、どのような方法が良いのか、給食会と協議しております。
教育委員会 (中村課長)	給食費の納入率ですが、函館市全体では99.3パーセント、南茅部地区は98パーセントとなっています。
佐々木委員	食育として、学校菜園や魚の調理実習などを授業に取り入れているのか？
教育委員会 (中村課長)	食育については、栄養教諭を中心に、学校菜園のほか授業の中で食べ物についての勉強をしております。
濱田委員	給食費の納入方法が、口座からの自動引き落としとなっているが、給食費の滞納につながっているのではないか？
教育委員会 (中村課長)	教育委員会としては、納入率を高めるために、保護者への通知や電話による催告等を行っておりますが、経済的な事情から滞納される方もおりますので、そうした方には市の就学援助制度を紹介するといった取り組みもしております。
秋本会長	他にありませんか？  (特になし)
秋本会長	他に無いようですので、意見交換を終了します。
(3) 尾札部保育園等児童通園費補助要綱の見直しについて	
秋本会長	(3) 尾札部保育園等児童通園費補助要綱の見直しについて、事務局から説明があります。

市民福祉課 (小枝課長)	(資料4のとおり説明)
秋本会長	説明が終わりましたので、意見交換に入ります。 何かご意見ありませんか？
	(特になし)
秋本会長	特に無いようですので、意見交換を終了します。 ここで、10分間、休憩いたします。
	(14時10分、休憩)
	(14時25分、再開)
(4) 函館国際水産・海洋都市構想について	
秋本会長	(4) 函館国際水産・海洋都市構想について、企画部から説明があります。
企画部 (藤田室長)	(スライドにより説明)
秋本会長	説明が終わりましたので、意見交換に入ります。 何かご意見ありませんか？
遠山委員	説明を聞き、大変素晴らしい構想だと実感した。 この構想における浜の役割はどのようになるのか？
企画部 (藤田室長)	現場でしか分からない事もあるので、研究フィールドとして研究者と一緒に研究へ参画していただきたいと考えております。
遠山委員	漁協との連携を図るための体制づくりも必要だと思うが。
企画部 (藤田室長)	現場に研究の受け入れ体制があれば、スムーズに研究に取り組めるので、漁協にそうした窓口を設けていただくことは、非常に大切だと思います。 また、産学官連携コーディネーターも機構の中にありますが、このコーディネーターを活用して、研究者と現場の連携を図っていきたいと考えております。
加藤委員	水産資源に関しても、浜が抱えている課題は多く、そういった事が研究され、その成果が地域産業に役立つというのは、素晴らしい事だと思う。 ただ、構想を策定した当時から、時代も大きく変わっている中で、こうした研究施設の整備が実現できるのか？
企画部 (藤田室長)	国際水産・海洋総合研究センターについては、当初、国・北海道・大学・民間等の学術研究機関に、それぞれ施設を整備してもらい、水槽や実験室と

	<p>いった共同で使用する研究施設を市が整備する予定でした。</p> <p>しかし、国も北海道も財政的に厳しいということで、その後、合併特例債を活用し、市が施設を整備することに方針転換したところであり、予定では、平成26年度までに整備することとしております。</p> <p>また、研究については、海の環境整備から生産、製品化、事業化まで一環した取り組みをした中で、こういった課題があるのか、今後、具体的に詰めていきたいと考えております。</p> <p>センターには研究機能だけを集積するのではなく、魚の展示施設等も整備し、観光など幅広い活用について、基本計画を作成中であります。</p>
加藤委員	全国的な研究機関も誘致するのか？
企画部 (藤田室長)	<p>誘致したいと考えており、これまで具体的な計画が示せず、足踏みしていた状態でしたが、ようやく計画が具体化されてきたことにより、前向きに検討していただいております。</p> <p>また、構想の推進はこれまで協議会組織の任意団体で取り組んできましたが、今回、法人として推進機構が設立されたことにより、地域としての取り組み姿勢が非常に高い評価を得ており、これからも機構を中心として、国内はもとより海外の研究機関に対して、PRしていきたいと考えております。</p>
工藤委員	もっと漁業者が知っておく必要があると思うが、そうした説明の機会はあるのか？
企画部 (藤田室長)	<p>この構想は、地域の活性化につながるまちづくりの一環ですので、行政や大学だけでなく、地域ぐるみで取り組んでいく必要があると思います。</p> <p>今後、機会があれば各種団体等へも説明していきたいと考えております。</p>
加藤委員	本構想が実現し、各種研究成果に基づき、水産資源に対する漁業者への喚起につながるよう期待したい。
秋本会長	研究センターの整備にあたり、国費や道費は財源として充当されるのか？
企画部 (藤田室長)	現時点では、合併特例債を活用するのが一番有利となっております。
秋本会長	これまで合併特例債は、どのくらい使われているのか？
企画部 (佐藤室長)	<p>平成20年度までで29億円、21年度で16億円ですので、合わせて45億円となっております。</p> <p>上限として308億円まで使えますが、特例債といっても借金ですので、市の厳しい財政状況を勘案しながら活用している状況にあります。</p> <p>南茅部地区に関連するものとして、縄文文化交流センターが合併特例債を充当して整備されることとなっております。</p> <p>研究センターの整備についても、国費や道費が充当されるのが望ましいですが、合併特例債を活用したとしても、まだ使える上限に余裕がありますの</p>

	で、対象年度内に特例債を活用して整備したいという考え方です。
秋本会長	市立函館病院が120億円の赤字を抱えている中で、連結決算などにより特例債を活用した整備が実現可能かどうか懸念される。 また、構想の内容について、もっと地域へ情報公開してほしい。
梅田支所長	沿岸漁業大学での活用も検討したいと思います。
秋本会長	他にご意見ありませんか？  (特になし)
秋本会長	特に無いようですので、意見交換を終了します。
(5) 次回の意見交換テーマについて	
秋本会長	次に、次回の意見交換テーマについて、どなたかご意見ありませんか？
遠山委員	縄文文化交流センターの指定管理のあり方について、例えば道の駅などをどのように管理するのか、交流センターと一体で管理するのかといったことも含めて、勉強する必要があると思う。
梅田支所長	交流センターの指定管理については、教育委員会で決定しますが、その前段で概要の説明を受け、意見交換することは可能だと思います。
佐々木委員	指定管理に対する地域審議会の要望は反映されるのか？
梅田支所長	指定管理の要件の中に、自主事業という項目があり、地域として色々な事業を実施してほしいという要望があれば、そうしたことも含めて、教育委員会が選定条件のひとつとして設けるといことはあり得ると思います。
加藤委員	前回の地域審議会で、岡崎次長が「21年度は指定管理のあり方について検討する期間としたい」と答弁しているが、その考え方に変わりはないのか？
小柏理事	指定管理者は公募となるので、指定管理の条件等についてもオープンにする必要がありますが、地域として施設の活用方法や事業の実施等を要望することはあって然るべきだと思います。 岡崎次長が答弁したのは、そうした地域の声を聞きながら、教育委員会として望ましい指定管理者のあり方についてのアウトラインを定めたいということだと思います。 施設の活用方法等についての意見交換を行い、それを踏まえて教育委員会として指定管理者の手続きを行っていくという流れになりますので、出来るだけ早い時期に意見交換の場を設けていきたいと考えております。

加藤委員	地域として、指定管理に対する要望もあると思うので、次回の意見交換テーマとしてもいいのではないか？
秋本会長	他にありませんか？  (特になし)
秋本会長	他に無いようですので、次回の意見交換テーマは、「縄文文化交流センターの管理運営のあり方について」にいたします。
( 6 ) その他	
秋本会長	次に、その他の地域振興全般に関する意見交換を行います。 どなたかご意見ありませんか？
佐々木委員	通行止めとなっているバイパスの安浦地区から白尻地区の区間で、不法投棄が見受けられる。
産業建設課 (河合課長)	正式に供用開始となっておりますが、その区間に4軒の住宅があり、関係者やバイパス工事の作業用ダンプ等が通行している状況にあります。 不法投棄については、現場を確認のうえ、管理者である開発建設部と対策を協議したいと思います。
遠山委員	支所の空きスペースについて、前に私の方から東商工会南茅部支所の入居をお願いした際、公募要項を作成中とのことであったが、新年度に入居できるようお願いしたい。 それから、過疎法(過疎地域自立促進特別措置法)を延長するとの報道があったが、4支所地区においては、合併後も「一部過疎」ということで、過疎法の適用を受けているが、延長後も過疎法が適用されるよう、市として関係機関に働きかけてほしい。
梅田支所長	支所の空きスペースについては、公有財産の一般貸付が可能かどうか財務部において検討中であります。 そうした中で、行政財産の目的外使用という方法についても、部内で協議しながら来年度に向けて入居が可能となるよう整理していきたいと考えております。
企画部 (佐藤室長)	過疎法については、平成21年度までの時限立法で、来年3月で終了となることから、これまで市としても過疎対策の継続を要請して参りました。 マスコミ報道では、総務大臣が過疎法を延長する方向でというコメントを発表していると伺っておりますが、当市のような一部過疎の取り扱いがどうなるのか情報収集して参りたいと考えております。
秋本会長	他にご意見ありませんか？

高谷委員	道道函館南茅部線の鉄山区間の工事は、いつ頃完成となるのか？
産業建設課 (河合課長)	11月中旬までの予定で、雪が降る前には供用開始したいと聞いております。
佐々木委員	買い物無料バスについて、前回の地域審議会で、南茅部地区の運行を廃止してほしいとの要望があったが、どのようになっているのか？
梅田支所長	経済部には伝えましたが、中々難しい状況です。
佐々木委員	どのようなバスを運行しているのか？
梅田支所長	路線バスではなく、北海道と市の補助金を活用し、バスを借り上げて運行しているものです。
佐々木委員	路線バスを活用する方法もあったのではないかと、別にバスを借り上げて運行させるのは、無駄だと感じる。
梅田支所長	大門地区と五稜郭地区の商店街の皆さんが、商店街の活性化を図るために実施している事業ですので、ご理解いただきたいと思っております。
秋本会長	他にご意見ありませんか？
	(特になし)
秋本会長	無いようですので、これで意見交換を終了します。 予定の日程が全て終了しましたので、これで閉会といたします。 次回は来年3月を予定しております。 どうもご苦労様でした。
	(午後5時50分、閉会)